



山路を登りながら、こう考えた。

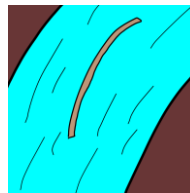
やまみち のぼ

かんが



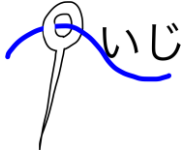
智に働けば角が立つ。

ち はたら かど た



情に棹させば流される。

じょう さお なが



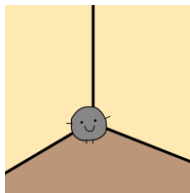
意地を通せば窮屈だ。

いじ とお きゆうくつ



とにかく人の世は住みにくい。

ひと よ す



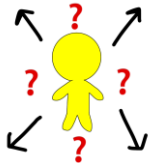
住みにくさが高じると、

こう



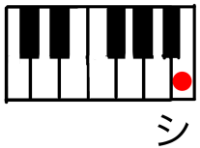
安い所へ引き越したくなる。

やす ところ ひ こ



どこへ越しても住みにくいと悟った時、

どこ す さと とぎ



シ

詩が生まれて、画が出来る。

え でき



あれば人ひとでなしの国くにへ行くいくばかりだ。



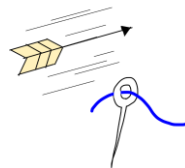
越こす国くにはあるまい。



ただの人ひとが作った人ひとの世よが住すみにくいからとて、



三軒さんげん両隣りょうどなりにちらちらするただの人ひとである。



やはり向むこう



鬼おにでもない。



神かみでもなければ



人ひとの世よを作つくったものは



人^{ひと}でなしの国^{くに}は人^{ひと}の世^よよりもなお住^すみにくかろう。